

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	5-19-003
地域資源名	眼鏡	認定日	平成19年10月12日
地域	福井県鯖江市	所管省庁	経済産業省

## 事業名: マグネシウムの射出成形による高デザイン性を有する眼鏡フレーム等の企画・開発・販売

会社名: 福井めがね工業株式会社

所在地: 福井県鯖江市北野町2丁目2番11号

連絡先: TEL: 0778-52-3471

H P: <http://www.fukuimegane.co.jp/>

FAX: 0778-52-8725

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・福井県は、眼鏡フレームの国内生産95%以上を誇る一大眼鏡産地であるが、近年の安価な海外製品の流入等により産地は非常に厳しい状況。
- ・そのような中、当社は、産地が長年培ってきたチタン合金、金合金、プラスチック素材による眼鏡製造技術を駆使し、21世紀の MATERIAL と言われるマグネシウムを活用した眼鏡フレームを射出成形法にて作成する業界初の新手法を用いることで、既存商品との差別化、付加価値化を図る。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・本製品は、他の製品と比較して、マグネシウムの特徴である超軽量、衝撃吸収、放熱性、金属アレルギーの軽減、豊富な資源による安い材料コスト等の様々の優位性があり、また射出成形を実現することでボリューム感のある高デザイン性も可能となった。

#### ◆市場性

- ・眼鏡の購買において、高デザインと軽量化という機能を重視する層が確実に増加している。
- ・眼鏡市場は、中国等の安価な海外製品と高付加価値製品との二極化の傾向にあり、本商品は高級志向層に向けての製品であり、需要増が期待出来る。

#### ◆販路

- ・デザイン・品質・掛け心地重視の高品位眼鏡フレームであることを最大限活かすために、主に40歳以上の眼鏡購買金額の高い層を主たるターゲットとして、需要開拓を図る。



当社 研究開発センター

### 地域資源における関係事業者との連携

- ・眼鏡製造で蓄積された優れた加工技術を持つ地域事業者との連携を構築し、生産量の強化・生産コストの軽減を図る。
- ・耐食性等の評価試験は福井県工業技術センター等の指導を受ける。